

「福祉バンク大館」設立

あなたは老後を考えていますか

大館市内のボランティア関係者や主婦などが中心に、これからの高齢化社会に対応するボランティア活動を展開していこうと、六月二十六日「福祉バンク大館」を発足させました。同会は、民間サイドによる福祉バンクとしては県内初めてのもので、バンクの存在を広く周知徹底することに全力を挙げ、相互扶助の精神で介護サービスを提供していくことにしています。

▽会員になるためには

「福祉バンク大館」は、利用会員、協力会員、賛助会員で構成されます。

〈利用会員とは〉
市内の方で、一人で住んでいるお年寄りや障害者の方。〈協力会員とは〉

市内の心身ともに健全な方で、この事業に対して理解と熱意のある方。

〈賛助会員とは〉
労力提供はできなくても、この事業の主旨に賛同し、自発的に資金などを寄付、援助できる方。〈利用会員が受けられるサービス内容



六月二十六日に行われた設立総会

- 食事の世話
- 衣類の洗濯
- 住居などの掃除、整理、整とん、及び補修
- 身の回りの世話
- 生活必需品などの買物
- 医療機関との連絡、通院介助
- 寝たきり老人やこれに準ずる方の介護補助
- 外出時の介助
- 官公署などへの連絡
- 留守番
- 代筆、朗読
- その他必要と認められる家事介助

介護サービス利用料

区分	内容	金額 (1時間当り)	利用券
A	ねたきり老人やこれに準ずる介護補助を行ったとき	300円	3点
B	掃除、洗たく、炊事、買物及びこれに準ずる家事サービスを行ったとき	200円	2点
	朗読、代筆、相談、話し相手などのサービスを行ったとき		

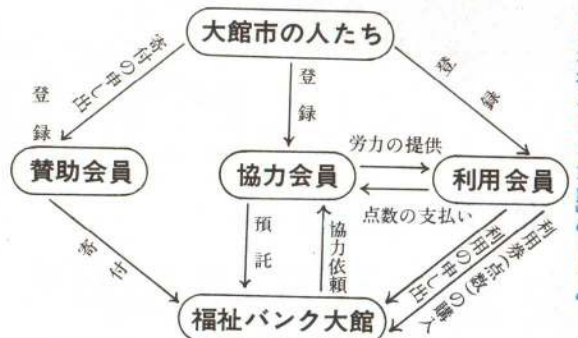
※利用できる時間は原則として月曜日から金曜日までの午前9時から午後3時までで、一日二時間以内となります。

▽利用される場合の料金
一点百円。利用される方は、事務局で利用券を購入下さい。なお、一点につき事務運営費三十円が必ず要です。

※利用される場合は、時間と内容により協力会員へ利用券と交通費の実費をお払い下さい。

▽協力会員は点数をたくわえる
協力会員が介護サービスを行った場合には、将来、自分または家族などが利用会員となったときのために点数をたくわえておきます。

▽「福祉バンク大館」のしくみ



▽会員申し込みの方法は

利用会員、協力会員、賛助会員の申し込みは、大館広域交流センター内「福祉バンク大館」(☎433329)へ。

人事異動

七月一日付の人事異動で、課長が次のとおり変わりました。

- | | | | |
|---------------------------------|---------------|------------------|----------------|
| 財政課 長 齋藤 武志 | 市民課 長 木村 定雄 | 勤労青少年ホーム館長 佐藤 博信 | 農林課 長 長崎 武 |
| (兼公設総合地方卸売市場長) 農業委員会事務局 長 畠山 利一 | 社会体育課 長 三浦 正孝 | 社会体育課 長 田面木敏夫 | 市民文化会館 長 蛇川 誠造 |
| 中央公民館 長 明石 幸蔵 | | | |

市長の対話ノート

米価引下げに思う

「米価」は公共料金です。それだけに戦後の混乱期から今日まで、生産者・消費者の両米価が国民生活、経済復興に果たしてきた役割は大きなものがあります。

このことを抜きにして今だけの情勢で米価を決定することは、生産者にとっても消費者にとっても不幸なことです。なぜならば、今決定は需要と供給の関係を見失ったものであり、それはこれまでの「米価」決定と違い日本の経済復興という大義も国民の合意もないからです。さらに今「高い米」だけを祖上に、自由化を懐刀とした一方的な生産者イジメの米価決定は、国論分断につながるからです。

同時に、農村地域を中心とした深刻な地域経済不況の真つただ中での一気な引き下げは、農家のみならず地域経済を一層の深みに追い込むからです。「決定したから仕様がな」ではなく、これから先の不安をなくすために、一つには地域から世論を高めていかいかなければなりません。

二つには、消費者米価引き下げに直結させるために生産者も頑張り歩調を揃えていくことです。

三つには、農業所得の低下を最小限度にとどめるために、複合化や一・五次産業化・転作田の有効活用による所得化を図ると共に、一層の「低コスト、高品位、多収穫」に精進することしかありません。行政もそのために全力を尽してまいります。



No.156

山田 健治郎